

歌川國貞画

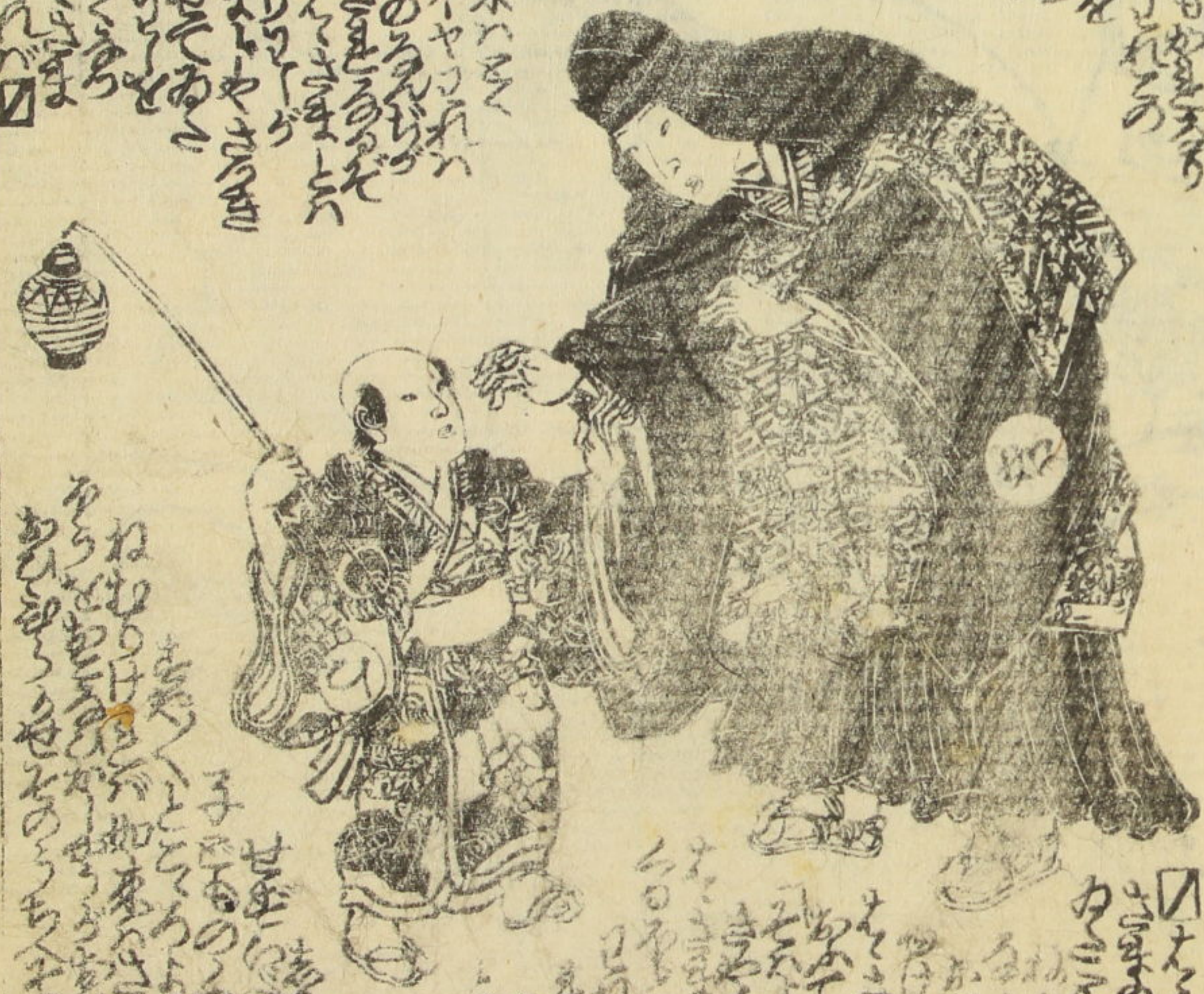
倭文庫三拾三編

^ 13
3785
66



此の如く... 文庫... 錦重堂...

錦重堂... 文庫... 錦重堂...



錦重堂... 文庫... 錦重堂...

3785
66

庶契作
國貞画

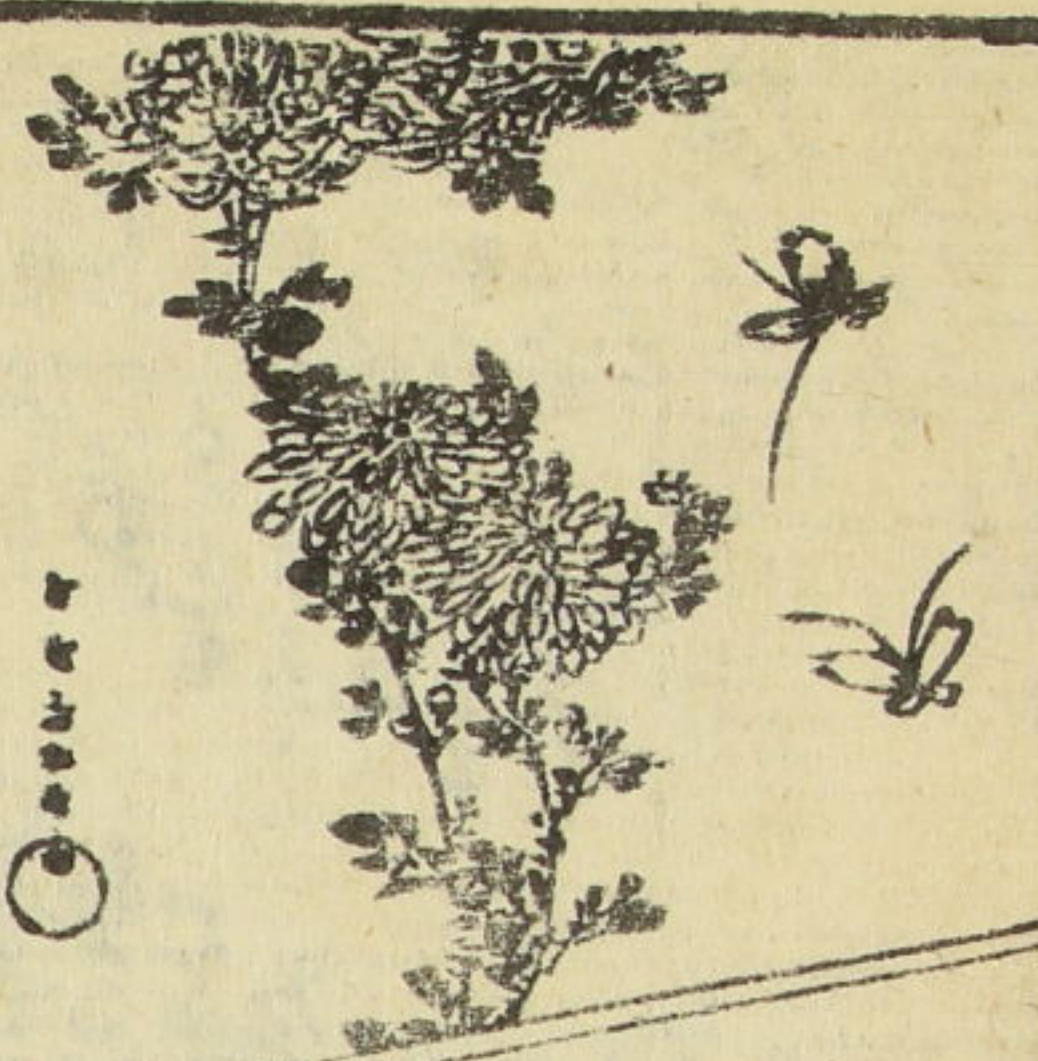
卯年
新得史



倭文庫三拾三編下卷

錦重堂梓

一書二冊



「さうか」の如くして
そまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして



「さうか」の如くして
そまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして



「さうか」の如くして
そまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして
おまふの如くして



山阿婆の世に
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり

④如東のまへまの
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり

⑤そのまへまの
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり

ひんがら
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり



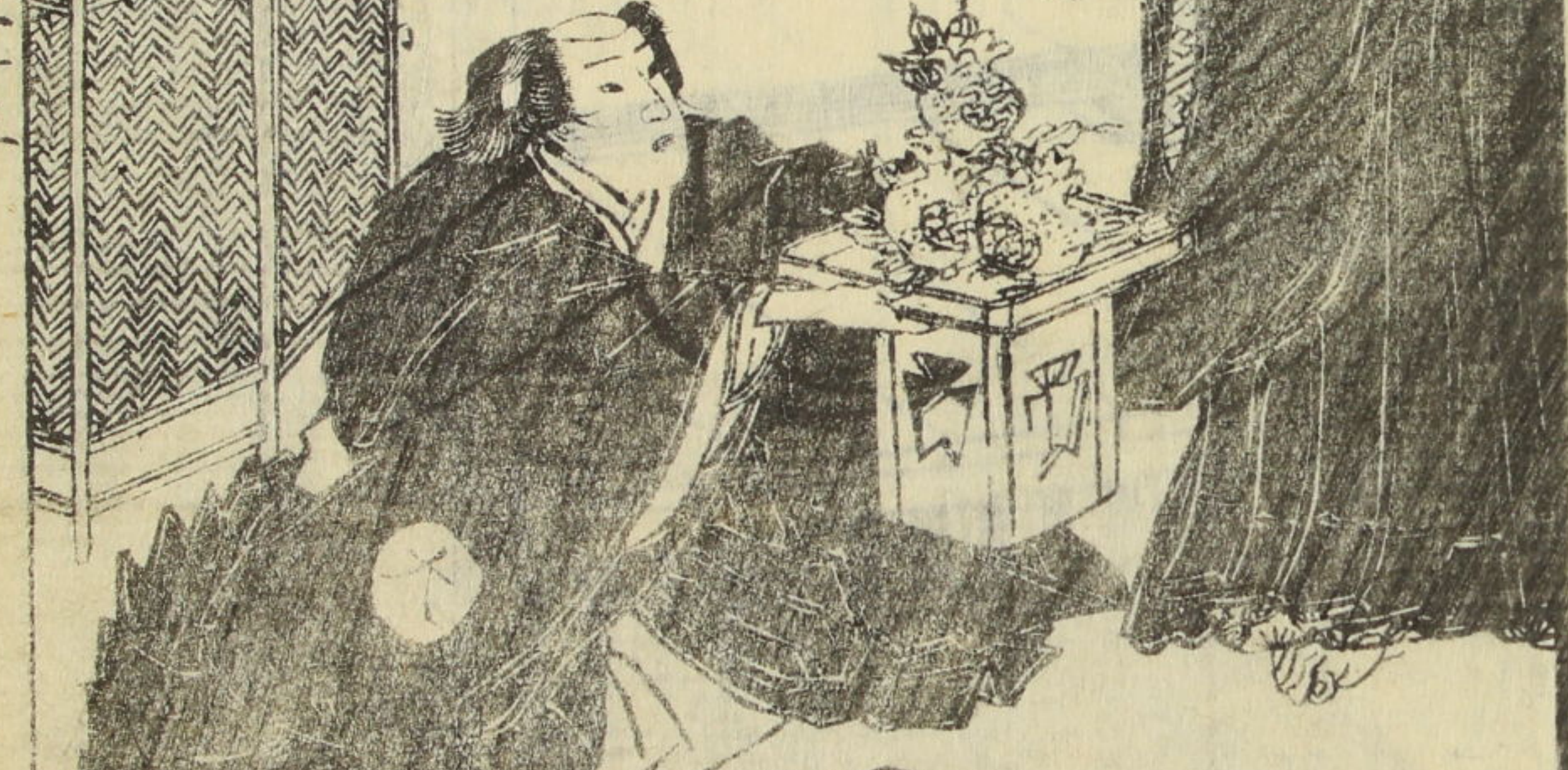
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり
おまかせたれり
たまにひんがら
おまかせたれり

何れとあはれむが
 けとちうられかき
 つとてちうさき
 命もそのあはれを
 せらふまじき
 せらふまじき
 たくすくま
 とのちのあはれ
 まつたよやく
 のまふまじ
 ちうとあはれ
 てまふまじ
 とくけれとも
 だんをん
 うごわて
 うごわて
 ちうとあはれ
 まつたよやく
 のまふまじ
 ちうとあはれ
 てまふまじ
 とくけれとも
 だんをん



まつたよやく
 のまふまじ
 ちうとあはれ
 てまふまじ
 とくけれとも
 だんをん

如
 何れとあはれむが
 けとちうられかき
 つとてちうさき
 命もそのあはれを
 せらふまじき
 せらふまじき
 たくすくま
 とのちのあはれ
 まつたよやく
 のまふまじ
 ちうとあはれ
 てまふまじ
 とくけれとも
 だんをん



まつたよやく
 のまふまじ
 ちうとあはれ
 てまふまじ
 とくけれとも
 だんをん

安政三年丙辰春新板目錄

倭文庫出世双六 万亭應賀作
一陽齋豐國画

春遊 将碁双六 同
歌川貞房作

男女 役替双六 同
一陽齋豐國画

大寶御江戸圖 極上摺 奉書六枚半續
はる外のおこらぬ物さ上平右を小体立
あつくはる雨りともは後く物な初上

清元稽古本 初編 二編 出版
是き形古懐中か二冊と書教八巻とあるい

常磐津懐中本 初編 二編 返く出版仕い
編四編

極上摺 擬百人一首 陽齋豐國
立齋廣更筆

万亭應賀作 一壽齋國貞画



此の御座りては、
 万亭應賀の御作也。
 一壽齋國貞の御画也。
 此の御座りては、
 万亭應賀の御作也。
 一壽齋國貞の御画也。
 此の御座りては、
 万亭應賀の御作也。
 一壽齋國貞の御画也。

